



JTの森 中辺路



JTの森 中辺路の概要

「JTの森 中辺路」は、和歌山県の「企業の森」事業を活用して、和歌山県、田辺市、中辺路町森林組合、JT が地元の方々と協働して取り組んでいる森林保全活動です。

- 実施地：和歌山県田辺市中辺路町野中
- 面積：約54ヘクタール（5年間にわたり植林）
- 整備目的：皆伐地の針広混交林再生
- 主な整備：下刈、除伐、間伐、補植、作業道整備
- 活動期間：20年間
2005年1月-2015年1月（1期）
2015年1月-2025年1月（2期）



「紀伊山地の霊場と参詣道として世界遺産に登録された熊野古道周辺に位置する

JTの森 中辺路の歩み

活動を始めたとき、50ヘクタールの広大な山肌には木がほとんどなく、土や石がむき出しでしたが、第1期の10年間で約18万本のサクラ・モミジ・コナラ・ヒノキなどを植栽し、広葉樹と針葉樹の混交林作りを目指して苗木の生長に必要な手入れに取り組んできました。活動を重ねるごとに山肌は緑を取り戻し、未来の森が着実に育まれています。第2期の10年間は、木々の育成および追加した区域での間伐を実施しています。

<第1期活動成果>



地域とともに

活動や整備計画には、森林組合や地区振興会等様々な方が携わっています。また、森づくりのボランティア活動には、大阪、京都、兵庫、滋賀からもJTグループ社員有志が結集。さらに地域の方々も加わり、2022年までの延べ参加者数は4,600人を超えました。豊かな森に育てるために、大勢が知恵と力を出し合っています。



紀州材の活用

JTの森中辺路の間伐材でSDGsバッジを製作し、JT社員や関係先へ配布しました。また、2022年には和歌山県産木材「紀州材」の積極的な活用に尽力し、その魅力発信に貢献したとして、「紀州材アクティブパートナー」の第1号に選ばれました。



JTの森 私たちJTは、森を育て 守っています

私たちの事業を支えてくれる自然の恵みに感謝し、今後も自然環境を大切にしていきたい……。そうした思いから、自然環境保全の一環として、森林保全活動を進めています。現在、JTの森の活動は全国9か所で実施しております。

